



PIF × SuMi TRUST

2022年10月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

**ポジティブ・インパクト・ファイナンス
(資金用途を限定しない事業会社向け投融資タイプ)の契約締結について
(住友重機械工業株式会社)**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、住友重機械工業株式会社(代表取締役社長:下村 真司、以下「住友重機械工業」)に対し、国連環境計画・金融イニシアティブ(以下「UNEP FI」)(※1)が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」(※2)に則した「ポジティブ・インパクト評価(資金用途を限定しない事業会社向け投融資タイプ)」(以下「本評価」)および本評価に基づく「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

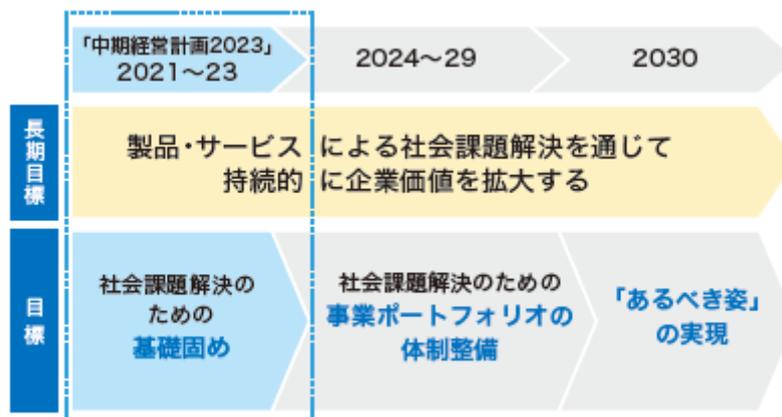
ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、開示情報に基づきモニタリングを行い、エンゲージメントを通じて活動を支援していくことが最大の特徴です。

本評価は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見(※3)を取得しています。

当社では、ポジティブ・インパクト・ファイナンス等のサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<住友重機械工業について>

住友重機械工業は、「一流の商品とサービスを通して社会に貢献する」という企業使命のもと、時代の要求に応える多様な製品やサービスを提供しています。総合機械メーカーとして、製品を通じた環境負荷低減に加え、製品の自動化やデジタル化を通じたお客さまの労働生産性向上や労働環境のさらなる改善への貢献等、イノベーションを通じて社会課題解決へのソリューションとなる製品およびサービスを提供していくことで、企業価値と社会価値の両立を目指しています。



<本評価の概要>

当社は、本件締結にあたり、住友重機械工業が SDGs 達成に対しインパクトを与える以下のテーマについて定性的、定量的に評価しました。

テーマ	内容	目標と指標 (KPI)	SDGs
CO2排出量削減への貢献	製品の製造・使用時におけるCO2排出量削減の推進	<p>(a) 事業活動におけるCO2排出量削減目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2050年までにグループ全体でのカーボンニュートラル (CO2 排出量実質ゼロ) を目指す ・製品の製造時の CO2 排出量 (Scope1、2) を 2030 年までに 50%削減 (2019 年度比) <p>指標 (KPI) 事業活動による CO2 排出量 (Scope1、2)</p> <p>(b) 製品使用時におけるCO2排出量削減目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品使用時の CO2 排出量 (Scope3 カテゴリ 11) を 2030 年までに 30%削減 (2019 年度比) <p>指標 (KPI) 製品使用時の CO2 排出量 (Scope3カテゴリ 11)</p>	  
廃棄物・資源再生における取り組み	資源の有効活用を通じて循環型社会に貢献	<p>(a) 事業活動での廃棄物ゼロ目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業活動での廃棄物ゼロを目指す <p>指標 (KPI) 廃棄物排出量 (最終処分量) (t)</p> <p>(b) 資源再生による廃棄物削減に貢献する製品の研究開発強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 資源再生に資する取組の推進 指標 (KPI) 資源再生に資する製品・技術等の開発状況 	   
労働生産性の向上・労働環境の改善	製品の自動化・省人化による労働生産性の向上・労働環境の改善と、インフラ高度化への貢献により、世の中の人々のよりよい暮らし・働き方を実現する	<p>「製品の自動化・省人化」を通じたインフラ高度化に関する研究開発の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 ・製品の自動化・省人化を通じたインフラ高度化による、お客様の労働生産性向上・労働環境の改善 	 

		指標 (KPI) 「製品の自動化・省人化」を通じたインフラ高度化に資する研究開発の状況	
人材 マネジメント	(a)従業員一人ひとりの個性や属性の違いを尊重し、個々の能力を最大限に発揮できる組織風土の醸成 (b)社員一人ひとりが安全・安心・健康に、いきいきと働ける職場の実現	(a)ダイバーシティ・マネジメントを通じ、多様な人材が活躍できる職場づくりに注力する 目標 ・新規学卒者の採用における女性比率 20%以上 ・2023 年4月1日時点の管理職に占める女性数 24 名 (2015 年4月対比倍増) 指標 (KPI) ・新規学卒者の採用における女性比率 (%) ・管理職に占める女性数 (人) (b)労働安全衛生マネジメントを通じ、安全を最優先とする職場づくりに注力する 目標 労働災害ゼロの実現 (同社単位) 指標 (KPI) ・業務上死亡者数 (人) ・労働災害発生件数 (件) ・災害度数率 (%) ・ISO45001 取得拠点比率 (%)	 
CSR 調達の 推進	サプライチェーン全体を通じたサステナブル調達の取り組みを推進する	CSR 調達ガイドラインに基づいたサプライチェーンマネジメントの高度化 目標 サプライチェーン全体を通じた CSR 調達の取り組み推進 指標 (KPI) サプライヤー調査実施率 (%)	  

(※1) 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

国連環境計画 (UNEP) は、1972 年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関。UNEP FI は、UNEP と 200 以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG (環境・社会・企業統治) への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※2) ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が 2017 年1月に策定した、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた金融の枠組。企業が SDGs 達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くもの。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

(※3) ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上